NPO法人 日本皮革技術協会が、12月、浅草で「日本エコレザー」SPECIALイベントを開催

皮革技術の学術団体であるＮＰＯ法人日本皮革技術協会（兵庫・姫路市、杉田正見理事長）は、昨年12月3日、東京・雷門前の浅草文化観光センターで、安心・安全の革「日本エコレザー」のSPECIALイベントを行った。

●業者と消費者に「日本エコレザー」を訴求

ＮＰＯ法人日本皮革技術協会は、皮革関連の技術研究のほか、皮革普及のための様々な啓蒙活動を積極的に行っている。

この一環として、昨年12月3日、浅草文化観光センターにおいて、皮革関連業者に向けて「日本エコレザー」をテーマにしたセミナーとパネルディスカッションを開催した。同時に、消費者にも「日本エコレザー」を知ってもらうためのワークショップも実施した。

セミナーでは、杉田正見理事長が「日本エコレザー」の現状と今後について解説した

パネルディスカッションでは、「日本エコレザー」の付加価値と活用法などが話し合われた

● 530件を超える認定、流通の拡大を目指す

杉田理事長によるセミナー「日本エコレザーの現状と浸透に向けて」では、革と革製品の認定が現在530件を超える現状や、日本エコレザーを使った「安全性」をうたう製品開発が、市場での付加価値創造につながることを解説した。

タンナー（なめし業者）、クリエイター、百貨店バイヤーなどによるパネルディスカッション「日本エコレザーとファッションの可能性」では、今日、世界的なブランドがエコに目を向けているとし、日本はファッション分野でもエコレザーを積極的に使い国内外に発信すべき、といった意見が出た。セミナー＆パネルディスカッションには、皮革関係者80人ほどが参加し、関心の高さがうかがえた。

また、消費者を対象としたワークショップには25人が参加した。「日本エコレザーで革小物をつくろう」と題して、実際に触れて、知ってもらうことを目的に、ブックカバーの染色仕上げを体験した。

◀▼ワークショップには、若い女性を中心に定員いっぱいの参加があった。

お問い合わせ　エフワークス㈱　〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町 1-12-6 KSビル 8F　TEL 03-5623-5110　FAX 03-5623-5114